

平成21年度与謝野町当初予算

平成21年度与謝野町当初予算の総額は、一般会計、特別会計、水道事業会計を合わせ193億6,751万7千円で、前年度対比3億1,632万8千円(1.7%)の増額となっています。

一般会計の総額は、100億480万円で、前年度対比8,600万円(0.9%)の減額予算となっています。

特別職給料の5%カットや、職員の退職に伴う補充を抑制、事務事業の見直しに伴う経常経費の削減を行いながら、総合計画に掲げる事業の推進や緊急雇用対策など、限られた財源の中で精一杯の予算編成を行ってまいりました。

主なものとしましては、下表のとおりです。

与謝野町として4年目を迎えるわけですが、取り巻く状況は、今までにも増して厳しいものがあります。100年に一度の津波と言われるアメリカ発の経済恐慌は、次々に民間企業を襲い、経営の縮小や社員のリストラなどが進められており、日本経済の先行きに大きな不安を与えています。これに伴い、税収は大きく減少し、国も地方も今までにも増した危機的状況に陥ることが心配され、いったいいつになったら立ち直れるのか、まさに予測することも困難な状況です。

厳しい財政状況の中ですが、町民の皆様とともに一生懸命頑張ってまいりたいと考えますので、格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

主 要 事 業

【一般会計】

>>>>> 総務費 <<<<<<

住民自治活動支援事業 6,500千円(ソフト 継続)

地域コミュニティの活性化を図るため、自治振興補助金を計上しています。

天橋立世界遺産登録推進事業 1,119千円(ソフト 継続)

天橋立世界遺産登録に向け、引き続き「天橋立を世界遺産にする会」への負担金並びに共同推進事業(シンポジウム等)への負担金等を計上しています。

有線テレビ拡張事業 71,005千円(ハード・ソフト 新規)

有線テレビの拡張に併せ、加悦地域でFMによる音声告知端末機を設置するとともに、野田川・岩滝地域での新規加入を促進するため、加入者補助金等を計上しています。

町営バス運行事業 10,501千円(ソフト 新規)

町内の交通不便地域の解消を図ることを目的に、3月16日から運行を開始する「コミュニティバスひまわり」の運行経費として、町営バス運行委託料等を計上しています。

自治組織支援事業 17,015千円(ソフト 継続)

各自治区運営のための自治振興委託料並びに、活動に係る保険料を半額補助することとし委託料、補助金等を計上しています。

>>>>> 民生費 <<<<<<

地域空間整備事業 15,000千円(ハード 継続)

「与謝野町地域福祉空間 安心どこでもプラン」に基づき、NPO等の民間機関で社会福祉施設を整備される経費に対して支援することとし、交付金を計上しています。

じん臓機能障害者通院交通費補助事業 1,000千円(ソフト 新規)

じん臓機能障害の方が人工透析を受けられるために通院される交通費に対し、府の制度の適用を受けない方を対象に月額上限5千円の範囲で援助を行うこととし、補助金を計上しています。

次世代育成支援行動計画策定事業 2,850千円(ソフト 新規)

次世代育成支援対策推進法により計画策定が義務付けられており、安心して子育てができる環境づくりを総合的・計画的に推進するため、子育て支援、少子化対策を網羅した後期計画(H22～26年)を策定することとし、委託料等を計上しています。

子育て支援事業 99,251千円(ソフト 継続)

子育て環境の充実を図るため、児童生徒医療費の現物給付を継続するとともに、ブックスタート事業、放課後児童健全育成事業、一時保育事業等を引き続き展開することとし、町単独の補助を含めた経費を計上しています。

保育所整備事業 12,600千円(ハード 新規)

安心して安全に快適に保育のできる環境整備に努めるため、加悦保育園の耐震補強工事並びに市場・山田保育所の屋上防水工事を実施するための工事請負費等を計上しています。

>>>>> 衛生費 <<<<<<

地域医療確保奨学金貸付事業 4,200千円(ソフト 継続)

京都府北部の医師確保対策として、京都府と共同で「府立与謝の海病院」の産婦人科・小児科等の医師を確保するため、奨学金の貸付けを行うこととし、貸付金を計上しています。

妊婦健康診査助成事業 17,790千円(ソフト 充実)

妊婦無料健診を5回から14回にセットメニュー化することにより、妊婦の受診支援と費用負担の軽減を図ります。

各種健康診断委託事業 33,300千円(ソフト 継続)

町民の皆さんの病気を早期発見するために、がん検診をはじめとする各種健康診断を全て無料で行います。

>>>>> 労働費 <<<<<<

緊急雇用対策事業 33,289千円(ソフト 新規)

地域の創意工夫による雇用再生のため、国の「ふるさと雇用再生特別交付金・緊急雇用創出事業」を活用し、求職者等を雇い入れ雇用機会の創出を図るため、民間企業、NPO等での雇用、直接雇用等様々な雇用対策を講じることとし、委託料や賃金等を計上しています。

>>>>> 農林水産業費 <<<<<<

自然循環農業推進事業 13,797千円(ソフト 継続)

自然環境に配慮した、循環型の農業を推進するため、大豆栽培の推進や、おから肥料「京の豆っこ」を使用する農産物の生産支援を行います。また、「京の豆っこ米」の生産性の向上・販路拡大を図るため循環型農業推進事業として委託料や補助金を計上しています。

農地・水・環境保全向上対策事業 10,328千円(ソフト 継続)

農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、地域共同の取組みを支援することとし、国・府・町の負担割合に基づき、町の負担割分(1/4)を負担金として計上しています。

農業用施設整備事業 67,693千円(ハード 一部新規)

農業振興に資する目的から、堀池地区農道舗装・排水路改修工事、山河地区農道舗装工事、並びに明石地区のソブ川改修工事を実施します。また、地域での農道等の小規模な修繕、改良に対して農林業振興事業費補助金を交付します。

有害鳥獣対策事業 11,457千円(ソフト 継続)

増え続けるシカ、イノシシ等による農林産物への被害を少なくするため、駆除委託料や捕獲檻の設置、電気柵設置に対する補助金等を計上するほか、クマの出没に対する対策経費を計上しています。

林道等整備事業 40,010千円(ハード 継続・一部新規)

林業振興に資する目的から、滝の千年ツバキ公園へのアクセス道路でもある、林道大田和線改良工事を実施します。また、天橋立を眺望できる観光林道として、京都府が整備を進めている丹後縦貫林道リフレッシュ事業・緑のふるさと林道建設事業(奥寄線)への負担金を計上しています。

災害に強い森づくり事業 12,020千円(ハード 一部新規)

災害に強い森づくりを推進するため、四辻の上谷地区に堰堤を新設することとし、工事請負費等を計上しています。また府営治山事業を推進します。

森林整備事業・緑の公共事業 798千円(ソフト 新規)

荒廃する山林を守るため、国・府の補助を受け森林整備をされる個人の方へ私有林対策として、町独自で10%の上乗せ補助を行うこととし、補助金を計上しています。また、緑の公共事業として、拡大する放置竹林を整理伐採することとし、委託料を計上しています。

>>>>> 商工費 <<<<<<

商工業振興対策事業 45,950千円(ソフト 一部充実)

地域産業の活性化を図るため、中小企業の指導母体である商工会への支援を行うとともに、新規創業、人材育成、新商品開発の支援制度である、商工業振興事業費補助金の条件緩和を行います。なお、商工会特別事業補助金の中で「定額給付金」の交付に併せ「プレミアム付商品券」を発行します。

商工業者金融支援事業 204,801千円(ソフト 一部充実)

低迷する地域産業の活性化と経営の安定を図るため、各種利子補給金を継続するとともに、企業活性化利子補給の条件を不況業種から保証協会の保証対象業種に拡大します。また、融資に係る金融機関への預託金は、1億7千6百万円を計上しています。

産業振興ビジョン策定事業 3,990千円(ソフト 新規)

与謝野町における産業振興について、様々な角度から既存産業・新規産業の融和・開拓を追及するなど、与謝野町ならではの産業振興を推進するための「産業振興ビジョン」を策定することとし、委託料を計上しています。

織物振興対策事業 5,297千円(ソフト 充実)

丹後織物工業組合や丹後の2市2町の共同事業として実施している「丹後ファッションウィーク」を継続するとともに、織物技能訓練センターを活用した織物技術の新規開発等、与謝野町商工会へ織物振興事業を委託することとし委託料等を計上しています。

観光イベント等開催事業 10,252千円(ソフト 一部新規)

ひまわり15万本事業や滝の千年ツバキまつりの観光イベント、またオータムフェスティバルを引き続き実施することとし、各実行委員会へ負担金を交付します。また、平成20年度で策定した観光振興ビジョンに基づき、与謝野町観光パンフレットを新たに作成し、観光振興に努めます。

>>>>> 土木費 <<<<<<

耐震診断補助事業 1,123千円(ソフト 継続)

公共施設のみならず、民間施設や個人家屋も含めた耐震化の促進を図るため、耐震診断調査、木造住宅耐震改修事業費補助金を継続し、国、府との共同事業として、安心・安全のまちづくりを目指します。

道路新設改良事業 144,097千円(ハード 継続・一部新規)

安全で利便性の高い道路環境の創出のため、明石香河線道路改良工事・岩屋川線道路改良工事・石川上山田線等の町道整備を行います。

河川改修事業 30,000千円(ハード 新規)

安心・安全対策を目指し、土砂堆積・常習浸水を解消するための河川・水路改修を実施するとともに、石田地区に新設される治山堰堤の流路工として上鉢屋敷水路改良工事を行います。

街路整備事業 54,536千円(ハード 継続・一部新規)

阿蘇シーサイドパーク整備地の海側に京都府が実施している岩滝海岸線街路事業への負担金を計上しています。また、岩滝海岸線へアクセスする平和通並びに波止場線の街路整備工事費等を計上しています。

都市公園整備事業 58,101千円(ハード 継続)

与謝野町の住民の憩いの場として、また、天橋立の観光スポットとして引き続き阿蘇シーサイドパーク整備事業を実施します。

>>>>> 消防費 <<<<<<

消防施設等整備事業 28,036千円(ハード 新規)

安心・安全のまちづくりを目指し、消火栓の計画的な設置、消防ポンプ自動車の更新等の環境改善に努めます。

防災行政無線施設整備事業 2,625千円(ソフト 新規)

防災行政無線について、平成23年7月のアナログ放送完全廃止に伴い、デジタル化への対応が必要となるもので、本年度は詳細設計を作成することとし、デジタル防災行政無線設備整備調査業務委託料を計上しています。

>>>>> 教育費 <<<<<<

小学校施設整備事業 225,620千円(ハード 新規)

災害に強いまちづくりを目指し、耐震診断結果に基づいた各小学校校舎の耐震化工事を実施します。また、各小学校の校舎、プール、遊具等の計画的な改修、山田・桑飼小学校の水洗化工事等、安全で安心して教育が受けられる環境整備を行います。

公民館管理運営事業 13,800千円(ハード 新規)

生涯にわたって成長する喜びを体感できるまちづくりを目指し、図書室の充実を図ることにより利用者の利便性向上に努めることとし、加悦地域公民館に設置されている図書室を2階から1階への移転整備工事費等を計上しています。

地区公民館整備事業 51,900千円(ハード 新規)

地域コミュニティの拠点となる地区公民館の整備として、四辻地区公民館の増築工事を実施します。

地区公民館活動推進モデル事業 750千円(ソフト 継続)

地域コミュニティを活性化し、新町の一体感を醸成するため、公民館活動事業を全町的に展開することとし、昨年に引き続き地区公民館活動推進モデル事業を試験的に取り組みます。

伝統的建造物群保存対策事業 16,842千円(ソフト 充実)

加悦地域のちりめん街道は、平成17年に国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けています。その保存のため、建造物の修理に補助金を交付するなど、地域と行政が一体となった取り組みを行います。

与謝野晶子短歌文学賞共催事業 1,000千円(ソフト 新規)

平成23年度に京都府内で開催される国民文化祭の事前事業として、産経新聞との共催による「与謝野町晶子短歌文学賞」を開催することとし、共催負担金を計上しています。

【特別会計等】

簡易水道特別会計 1,007,670千円(ハード 継続)

安全で安心して提供できる飲料水の安定供給のため、三河内簡易水道施設や加悦簡易水道施設の整備を計画的に実施します。

下水道道特別会計 2,322,100千円(ハード 継続)

生活環境の向上と公共用水域の水質保全対策のため、事業計画区域の普及向上を目指し公共下水道の整備を計画的に実施します。また、水洗化率の向上を図るため、融資あっせん制度や利子補給制度など水洗化促進施策を進めます。

農業集落排水特別会計 155,510千円(ハード 継続)

生活環境の向上と公共用水域の水質保全対策のため、公共下水道の事業計画区域外となっている、温江地区において農業集落排水事業を計画的に実施します。また、水洗化率の向上を図るため、融資あっせん制度や利子補給制度など水洗化促進施策を進めます。

(地方債残高) まちの借金

(単位:千円)

		H19年度末	H20年度末	H21年度末(見込み)
一般会計	住民一人当たり	13,378,174	12,946,019	14,553,040
	一世帯当たり	531	520	584
特別会計 (上水道含む)	住民一人当たり	1,499	1,434	1,612
	一世帯当たり	16,976,171	17,630,522	18,399,367
計	住民一人当たり	674	707	738
	一世帯当たり	1,902	1,953	2,038
	住民一人当たり	30,354,345	30,576,541	32,952,407
	一世帯当たり	1,205	1,227	1,322
		3,401	3,388	3,651

(基金現在高) まちの貯金

(単位:千円)

		H19年度末	H20年度末	H21年度末(見込み)
財政調整基金	住民一人当たり	1,114,738	1,195,246	1,116,342
	一世帯当たり	44	48	45
減債基金	住民一人当たり	125	132	124
	一世帯当たり	205,640	206,066	206,243
その他特定目的基金 (特別会計等含む) 定額運用基金除く	住民一人当たり	8	8	8
	一世帯当たり	23	23	23
計	住民一人当たり	1,208,137	1,349,140	1,493,529
	一世帯当たり	48	54	60
		135	149	165
	住民一人当たり	2,528,515	2,750,452	2,816,114
	一世帯当たり	100	110	113
		283	305	312

	H20・3月末	H21・3月末	H22・3月末(H20横置)
総人口	25,193	24,920	24,920
世帯数	8,926	9,026	9,026